

教育部

(単位：円)

教育総務課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	140～141	
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校トイレ改修事業（工事）			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
261, 211, 000		122, 507, 640		138, 702, 000		1, 360		46. 9%	100. 0%
1 事業目的		小学校トイレの快適性を確保するために、経年による老朽化したトイレ及び配管等の改修、大便器の洋式化を図り、教育環境を良好な状態に維持する。							
2 事業内容		（１）工事期間 平成２９年６月２２日から平成２９年１０月２日 （２）工事場所 ア 鶴ヶ島第一小学校 北校舎２階（東・西側）、３階（西側）の男女トイレ３か所 イ 杉下小学校 北校舎１～３階、男女トイレ３か所 ウ 長久保小学校 南校舎１～３階、男女トイレ３か所 エ 南小学校 南校舎１～４階、男女トイレ（東側）５か所 （２階、職員用男女トイレ１か所含む） （３）工事概要 ア 天井の張り替え イ 壁の新設 ウ 床の新設（湿式から乾式へ変更） エ 車椅子対応便器設置（男女トイレ１か所ずつ） オ 小便器新設、大便器の新設（洋式化） ほか							
3 成果		・小学校トイレ改修工事の完了により、小学校のトイレ環境が改善された。							

(単位：円)

教育総務課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	140～141
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校空調設備改修事業（設計）			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2,608,000		1,890,000	0		718,000		72.5%	—
1 事業目的		近年の暑さ対策として空調設備を更新し学習環境を良好に整える。						
2 事業内容		鶴ヶ島第一小学校空調設備更新工事設計業務 （１）履行期間 平成２９年５月２３日から平成２９年９月２９日 （２）委託概要 鶴ヶ島第一小学校空調設備更新工事の設計業務一式						
3 成果		・設計業務の完了により、平成３０年度に実施する鶴ヶ島第一小学校空調設備更新工事の準備が完了した。						

(単位：円)

教育総務課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	02	中学校施設費
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校施設管理事業		
予算現額		支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率	
89,362,000		63,204,065	23,827,000	2,330,935	70.7%	96.4%	
1 事業目的		中学校施設の安全性及び快適性を確保するために、学校の施設・設備の保守点検、また、破損・故障か所を整備することで、学校運営を継続的に確保すると共に、教育環境・学習環境の維持に努める。					
2 事業内容		(1) 中学校施設管理 ア 浄化槽維持管理 イ 空調機等切替保守点検 ウ 受水槽、高架水槽清掃及び点検 エ 消防設備保守点検 オ プールろ過装置保守点検 カ 樹木剪定業務 ほか (2) 中学校施設修繕 ア 南中学校渡り廊下修繕 イ 中学校体育館照明電球及び器具交換修繕 ウ 西中学校外壁塗装工事 (ア) 工事期間 平成29年7月21日から平成29年11月16日 (イ) 工事概要 a 外壁（東・西・北面）の外壁劣化部分補修、塗装（約3,500㎡） b 外壁（南面）の全体洗浄、一部塗装（約130㎡） ほか					
3 成果		・学校施設・設備の保守点検をすることで円滑な学校運営を確保し、また、学校施設の破損・故障を整備することで、生徒などへの受傷事故を未然に防いだ。					

(単位：円)

教育総務課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	138～139	
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校施設管理事業（繰越明許費分）				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2, 252, 000		2, 251, 260				740		100. 0%	—
1 事業目的		小学校施設の安全性及び快適性を確保するために、学校の施設・設備の保守点検、また、破損・故障か所を整備することで、学校運営を継続的に確保すると共に、教育環境・学習環境の維持に努める。 ※消防設備等点検結果指摘事項の対応							
2 事業内容		小学校消防設備修繕調査設計業務 （１）履行期間 平成２９年２月１５日から平成２９年７月３１日 （２）設計対象校 ア 鶴ヶ島第一小学校 イ 鶴ヶ島第二小学校 ウ 新町小学校 エ 杉下小学校 オ 長久保小学校 カ 栄小学校 キ 藤小学校 ク 南小学校 （３）委託概要 消防設備修繕調査設計業務一式							
3 成果		・設計業務の完了により、平成２９年度以降実施する小学校消防設備修繕の準備が完了した。							

(単位：円)

教育総務課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	02	小学校費	02	小学校施設費	140～141
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校トイレ改修事業（設計）（繰越明許費分）			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4,461,000		4,460,400			600		100.0%	—
1 事業目的		小学校トイレの快適性を確保するために、経年による老朽化したトイレ及び配管等の改修、大便器の洋式化を図り、教育環境を良好な状態に維持する。						
2 事業内容		小学校トイレ改修設計業務 （１）履行期間 平成２９年１月２７日から平成２９年４月２８日 （２）設計対象校 ア 鶴ヶ島第一小学校 イ 鶴ヶ島第二小学校 ウ 新町小学校 エ 杉下小学校 オ 長久保小学校 カ 栄小学校 キ 藤小学校 ク 南小学校 （３）委託概要 トイレ改修工事設計業務一式						
3 成果		・設計業務の完了により、平成２９年度以降実施する小学校トイレ改修工事の準備が完了した。 平成２９年度工事実施校 鶴ヶ島第一小学校、杉下小学校、長久保小学校、南小学校 平成３０年度工事実施予定校 鶴ヶ島第二小学校、新町小学校、栄小学校、藤小学校						

(単位：円)

教育総務課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	02	中学校施設費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校施設管理事業（繰越明許費分）			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
1,842,000		1,841,940			60		100.0%	—
1 事業目的		中学校施設の安全性及び快適性を確保するために、学校の施設・設備の保守点検、また、破損・故障か所を整備することで、学校運営を継続的に確保すると共に、教育環境・学習環境の維持に努める。 ※消防設備点検指摘事項の対応						
2 事業内容		中学校消防設備修繕調査設計業務 （1）履行期間 平成29年2月15日から平成29年7月31日 （2）設計対象校 ア 鶴ヶ島中学校 イ 藤中学校 ウ 富士見中学校 エ 西中学校 オ 南中学校 （3）委託概要 消防設備修繕調査設計業務一式						
3 成果		・設計業務の完了により、平成29年度以降実施する中学校消防設備修繕の準備が完了した。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計																				
		款		項		目	決算書頁															
		10	教育費	01	教育総務費	02	事務局費	136～137														
政策 4	人を育むまち		事業名		入学準備金貸付事業																	
予算現額		支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率																
2, 375, 000		1, 002, 534	0	1, 372, 466	42. 2%	—																
1 事業目的		高校、大学及び専修学校に入学を希望する者の保護者で、入学準備金の調達が困難なものに対し、入学準備金の貸付けを行い、有為な人材の育成に資するとともに、教育の機会均等に寄与することを目的とする。																				
2 事業内容		(1) 入学準備金貸付審査会 開催回数：1回 委員数：3人（教育部参事、健康福祉部長兼福祉事務所長、学校教育課長） (2) 入学準備金の貸付 平成29年度貸付者：4人（高等学校及び専修学校（高等課程）2人、大学及び専修学校（専門課程）2人）<table><tr><td>高校等</td><td>貸付者</td><td>2人</td><td>貸付額</td><td>400, 000円</td></tr><tr><td>大学等</td><td>貸付者</td><td>2人</td><td>貸付額</td><td>600, 000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>貸付者</td><td>4人</td><td>貸付額</td><td>1, 000, 000円</td></tr></table>						高校等	貸付者	2人	貸付額	400, 000円	大学等	貸付者	2人	貸付額	600, 000円	合計	貸付者	4人	貸付額	1, 000, 000円
高校等	貸付者	2人	貸付額	400, 000円																		
大学等	貸付者	2人	貸付額	600, 000円																		
合計	貸付者	4人	貸付額	1, 000, 000円																		
3 成果		・入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金の貸付けを行うことで、教育の機会均等に寄与することができた。																				

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	01	教育総務費	02	事務局費	136～137
政策 4	人を育むまち		事業名		教育系 I C T 環境推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2,970,000		2,970,000	0		0		100.0%	—
1 事業目的		国の教育の I T 化に向けた環境整備計画等の動向を踏まえながら市の考え方を整理し、教育の情報化ビジョン（計画）を策定する。						
2 事業内容		本市における I C T 教育環境の望ましい姿と関連機器調達のあり方や推進のための組織体制等についての方向性を検討していくにあたり、コンサルティング業者を活用して調査及び分析等を行い、整備計画を策定した。						
3 成果		・次期学習指導要領や国の動向、学校現場の現状を踏まえ、本市における教育の I C T 整備の基本方針を示すことができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	01	小学校管理費	138～139	
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校校務情報化推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4,500,000		3,047,971		0		1,452,029		67.7%	—
1 事業目的		情報の共有化、校務作業の効率化及びセキュリティ強化の向上を図るため、教職員1人1台を目標とした校務用パソコンを整備する。							
2 事業内容		小学校校務用パソコン整備 96台整備（第1期整備：48台、第2期整備：48台）							
3 成果		・校務用パソコン整備により、教員の負担軽減を図ることができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141
政策 4	人を育むまち		事業名		児童就学支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
30,513,000		30,430,189	0		82,811		99.7%	—
1 事業目的		児童の保護者に対し、経済的な負担を軽減し、必要な支援を行うことで義務教育の円滑な実施が行えるようにする。						
2 事業内容		(1) 児童就学援助 援助内容：学用品費、通学用品費、新入学準備費、校外活動費、修学旅行費、医療費、学校給食費 支給月：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費は、年3回（8月、12月、3月）、新入学準備費は6月末日及び3月、4月、学校給食費は毎月、医療費は随時。 支給状況：要保護 4世帯 4人 77,322円 準要保護 373世帯 501人 29,432,617円 合 計 377世帯 505人 29,509,939円 (2) 特別支援教育児童就学奨励費 支給内容：学用品等購入費、新入学児童学用品等、校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費（以上、保護者実費の1/2）及び通学費（保護者実費） 支給月：年3回（10月、1月、3月） 支給状況：対象児童68人 支給者30人 920,250円						
3 成果		- 児童の保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育が円滑に実施できた。 - 就学援助の新入学準備費の支給を、入学前の年度に支給することにより、保護者の負担軽減を図ることができた。 - 特別支援教育を要する児童の保護者への経済的負担を軽減することにより、就学の奨励を図ることができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校コンピュータ教育推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
14,505,000		14,410,650		0		94,350		99.3%	—
1 事業目的		学習指導要領に基づき学校における情報教育の充実を図るとともに、児童に情報教育をとおして情報機器の選択や活用できる資質、能力の育成を図ることを目的とする。							
2 事業内容		(1) コンピュータ教育のための機器等の保守等 各小学校のパソコン教室に設置しているパソコン等の保守 教師用パソコン等 2 台 児童用パソコン 40 台 その他、サーバー等の機器							
3 成果		・各小学校でコンピュータを利用し、情報機器を活用する機会を増やすことで児童が情報化社会を生き抜く力を身につける情報教育の充実が図られた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校図書館図書整備事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
5,493,000		5,486,422		0		6,578		99.9%	—
1 事業目的		児童の豊かな人間性を育むために、読書活動の充実を図ることを目的とする。							
2 事業内容		(1) 学校図書館の図書や資料の充実 図書及び新聞等の購入 平成29年度図書購入冊数 2,390冊 平成29年度末学校図書館充足率 65.9% (2) 学校図書館システムの保守管理 学校図書館システム 各小学校に設置 学校図書館システム機器 パソコン、サーバー、プリンター							
3 成果		・児童の本の貸出・返却手続きがスムーズになり、読書や選書の時間を確保し、本にふれあう機会が増した。 ・今年度の貸出等のデータを活用し、次年度以降の図書購入の際の参考とすることができた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校学力向上推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
18,148,000		17,994,083		0		153,917		99.2%	—
1 事業目的		主体的に学ぶ姿勢、基礎学力の定着により子どもたちの確かな学力と自立する力を育むことを目的とする。							
2 事業内容		(1) 小学校学習支援員の配置 個に応じたより細かな学習支援体制を確保し、わかる授業・伸ばす授業を実現するため、各校1名の学習支援員を配置し、基礎学力の定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図った。 学習支援員 各小学校1名配置 (計8名) (2) 小学校算数学力向上支援員の配置 学習のつまづきを早期に解消するために、掛け算九九や四則計算をはじめとした基礎学力の定着を目的として、小学校に算数学力向上支援員を配置し、放課後のびのび算数教室の指導の充実を図った。 算数学力向上支援員 各小学校3～4名配置 (計25名) (3) 土曜学習指導員等の配置 平成29年度から中央図書館等で土曜学習会を開催し、参加児童の学力に応じて国語・算数に関する基礎的な知識・技術の確実な定着と活用力や応用力の向上を目的として、土曜学習指導員等を配置し、土曜学習会の指導の充実を図った。 土曜学習指導員、土曜学習指導補助員 各2名配置 (計4名) (4) 学習支援ソフト及びタブレットPCのリース(土曜学習会用) 学習支援ソフト等を活用し、参加児童の学力に応じて国語・算数に関する基礎的な知識・技術の確実な定着と活用力や応用力の向上を図った。 学習支援ソフト及びタブレットPC (42台リース)							
3 成果		- 学習支援員や算数学力向上支援員により、個に応じたきめ細やかな指導を受け基礎学力を伸ばすことができた。 - 土曜学習会では、個に応じた学習支援を行うことで苦手分野の克服や得意教科をさらに伸ばす機会となった。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	140～141	
政策 4	人を育むまち			事業名		小学校学校応援団支援事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
1,138,000		903,712		0		234,288		79.4%	—
1 事業目的		「学校応援団」にボランティアとして保護者や地域住民の参加を促し、学習支援、安全指導、環境整備などの活動をとおして、学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成を推進する。							
2 事業内容		(1) 推進委員会及び担当国会議 ア 学校応援団推進委員会 1回実施 イ 学校応援団コーディネーター連絡会議 2回実施 ウ 県のコーディネーター研修会で使用された資料をコーディネーターへ配布し、情報提供を行った。 エ 各校の取組の情報交換を行い、学校応援団の更なる充実のための研修会を行った。 (2) 新規ボランティア導入の推進 新規ボランティアの募集について、近隣市町の良い取組を推進委員会等で、学校応援団コーディネーター等へ情報提供を行った。 (3) 学校応援団活動の周知や新規ボランティアの募集 学校便り、学校のホームページや市の広報を活用して、情報発信を行った。							
3 成果		・学校応援団コーディネーターが中心となって、各学校で連絡協議会を開催し、学校が必要とする応援団業務について、事前の連絡調整等を行うことができた。そのため、学校が必要とする教育活動に向けて学校応援団員の人数の確保を図るとともに、それぞれの活動を通じて、地域、保護者と学校の協力体制がより充実できた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	142～143
政策 4	人を育むまち		事業名		小学校国際性を育む教育推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4,107,000		4,102,480	0		4,520		99.9%	—
1 事業目的		外国語指導助手を配置し、小学校教員の支援や小学校外国語活動の充実を図り、外国語による聞くこと、話すことの言語活動をとおして、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目的とする。						
2 事業内容		(1) 外国語指導助手（ALT）の配置 英語の標準的な発音に慣れたり、外国の生活について興味関心を高めながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、外国語指導助手（ALT）を小学校に派遣した。また、外国語指導助手（ALT）を講師とし、小学生を対象に親子英会話教室を開催した。 ア 市内小学校ALT 3名で対応（南小学校は、南中学校のALTが兼務） イ 親子英会話講座 開催期間 平成29年7月24日～平成29年7月26日 対象者 小学生 参加人数 小学生32人 その他、保護者も参加 (2) 英語教員の指導力の向上 グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、大学等外部専門機関と連携した効果的な研修をとおして、英語教育に携わる者の英語によるコミュニケーション能力及び英語・外国語活動の指導力の向上を図った。 事前公開授業開催日 平成29年11月30日 参加人数 約20人 公開授業開催日 平成30年1月16日 参加人数 約50人 開催場所 南小学校 講師 東京学芸大学 教授 粕谷 恭子						
3 成果		・外国語指導助手を配置し、小学校での外国語活動の時間にネイティブな英語を定期的に体感させることで、児童の英語に対する興味関心を高めるとともに基本的な英会話を習得させることができた。外国語を楽しんで学習することで積極的に自らコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努めた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	02	小学校費	03	小学校教育振興費	142～143	
政策 4	人を育むまち		事業名		笑顔あふれる活動応援事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
3,174,000		3,058,770		0		115,230		96.4%	—
1 事業目的		学校の教育活動を充実させるとともに、地域の人々や活動等に役立つなど、児童と地域の人々の笑顔に結びつく物品の購入を目的とする。							
2 事業内容		(1) 備品購入 各小学校からの要望をもとに次の事項を踏まえ学校教育課内で購入物品を選定し、物品の購入を行った。 ア 児童が学校や地域で活躍するために役立つもの。 イ 学校の教育活動の充実、地域の人々の活動等に役立つなど、児童と地域の人々の笑顔に結びつくもの。 (2) 主な購入品 ア 鼓笛隊で使用する衣装や楽器 イ 授業の充実とともに、学校行事等でも使用する楽器 ウ 学校行事や地域行事で使用するテント（小学校8校分）							
3 成果		・楽器等の購入により、より充実した鼓笛隊を編成することができた。また、授業の充実が図られるだけでなく、学校行事等で購入品を活用することにより、地域や保護者にも喜ばれるものとなり、児童の活躍の場が広がり地域の笑顔につながった。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	01	中学校管理費	142～145	
政策 4	人を育むまち			事業名		中学校校務情報化推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
3,050,000		2,019,040		0		1,030,960		66.2%	—
1 事業目的		情報の共有化、校務作業の効率化及びセキュリティ強化の向上を図るため、教職員 1 人 1 台を目標とした校務用パソコンの整備する。							
2 事業内容		中学校校務用パソコン整備 64 台整備（第 1 期整備：32 台、第 2 期整備：32 台）							
3 成果		・校務用パソコン整備により、教員の負担軽減を図ることができた。							